

居合道 だより

第138号



新年明けましておめでとうございます。

今年が会員の皆様にとって素晴らしい年になりますようにお祈り申し上げます。

今年の干支は戌。普段はほとんど使わない馴染まない漢字だが、犬である。犬は人間とは一番身近、かつ多分一番古くからの付き合いで、親しみ深い動物である。

盲導犬や災害救助犬をはじめとして、頭が良く忠実で社会性もあり、すでに愛玩動物の域を超えて人間の良きパートナーでもある。

また戌には勤勉で努力家という意味もあるそう。

毎年のことだが、一年の計は元旦にあり。

今年も一年の居合道の目標を立てよう。昇段審査や各種大会等の身近な目標から居合道そのものにたいする大きなものまで。

そしてその目標に向かって進んでいこう。

稽古をしたからといってその量と成果が正比例して、一直線の右肩上がりに行くとは限らない。もしそうなるのなら誰だって努力が出来る。しかし、やってもやっても一向に上達しないと思うときがやってくる。いやむしろ後退していると感じるときだってある。

その時こそが修行なのである。その出口の見えない苦しみの毎日を諦めずに続けているうち、ある日突然、ポンと、これだと感じるときが来る。まさに目から鱗である。

昔の剣聖たちが、神のご神託を得たという瞬間とは当然較べようもないちっぽけなものなのだが。

さあ皆さん、特に若き剣友諸君！夢や希望を乗せて修行という名の大海原へ漕ぎ出そう。今は見えない目的地に向かって、ちっぽけな小舟でたった一人。

晴れた日よりや風の時はばかりじゃない。ある時は嵐で小舟が転覆しそうになったり、潮に流されたりもするだろう。しかし君の自らの手で漕ぐひとかきひとかきこそが、目的地にたどり着くただひとつの方法なのである。

もがき苦しむ、進むべき道に迷ったら、先人の教えを思い出せばよい。

闇夜の航海で方角を見失った時、北極星を道標とするように。

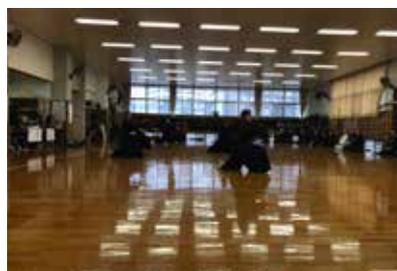


主な活動

12月10日

地域稽古会

居合道部 小倉北柔剣道場



1月・2月の活動予定

1月8日(祝)

居合道初稽古会

居合道部

福岡武道館

懇親会

1月21日(日)

地域稽古会

居合道部

宗方 B&G

2月25日(日)

地域稽古会

居合道部

飯塚市

居合道六段を拝領して



居合道六段 坂田 義文

平成30年の新年を迎え、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

さて私儀、平成29年11月18日に東京都の江戸川区スポーツセンターにて行われました全剣連居合道六・七段審査会において居合道六段を拝受させていただきました。

く事が出来ました。

今回の受審にあたっては、稽古を積み重ねた自負と必ず合格するぞという覚悟で臨み、緊張の中にも自分の今持てる力を精一杯出せたような気が致します。

結果、居合道六段を戴くことができ喜びに堪えません。

私が居合道に出会うきっかけは、ずっと剣道が続けていた中で「剣居一体」の体現を目指してみようと思い、一念発起しやってみることにしたのが居合道に取り組む最初の一步でした。

そして、大阪府高槻市に住んでいた関係で平成元年に高槻市の故・居合道範士 八段 川崎武雄先生に師事し、居合道のご指導を頂きました。

平成15年に大阪にて居合道五段を戴いてから居合道六段受審を続けていましたが、同門の方々が六段、七段と昇段される中、私自身なかなか六段に合格できないという情けない気持ちと六段の居合とは何なのか暗中模索の状態が続きました。

そして、おおよそ半世紀在籍した高槻市内の会社を退職し、念願だった実家に近く海の見渡せる福岡市の下山門に居を移しました。

居を福岡に移るにあたり、予め大阪の同門の方から同じ流派の居合道教士 八段 國方孝之先生をご紹介頂き、國方先生が所属する居合道範士 八段 井手友太先生の糸島 錬心館道場に入門させて頂きました。

両先生から並々ならぬお稽古をつけて頂き、この度居合道六段に合格できたことは大変有難く衷心より感謝申し上げる次第でございます。

また、他の多くの先生方また剣友皆様のご指導ご支援を賜りましたことに御礼申し上げます。

今後も精進していく所存でございますので、何卒ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

道場訪問 - 小倉剣道連盟居合道部

西小倉駅から徒歩5分の位置にある小倉北銃剣道場で毎週月曜日と金曜日に稽古している「小倉剣道連盟居合道部」は宮原先生を筆頭に十分な時間を取り、皆で揃い抜きしながら細かく先生が解説を入れながら稽古している。

金曜日は 範士八段、迫野会長が指導に見えられるそうです。

一本一本丁寧に低段者から高段者に至るまで、その時間を共有し親切で丁寧に指導している様はまるで上質な稽古会を重ねているようです。

初心者の受け入れも可能で、道場もゆったりした空間です。

元は小倉剣道連盟の中で居合道と杖道の三道を修練するために立ち上げられた道場で、他に二天一流なども同場所で稽古されておられます。



小倉剣道連盟居合道部の皆さん

道場訪問 - 明徳館

現代の剣豪！杖道 範士八段、居合道教士八段 波止先生率いる明徳館は宮若の脇田温泉の近くにある独自の道場で、波止先生がご自身で開られた道場です。

元は小学校の校舎を30年ほど前に改築し、道場にしたとの事。

居合道は月曜日19時からですが、熱心な練習生は早くから来て稽古しているとの事。

全員が揃い抜きをして、終わった後に、個々や、全体的に指導する、稽古中の先生の気迫の籠った指導はまさに剣豪そのものである。

取材して稽古を見学していただいてもいくつか勉強させていただけたと感じる内容です。稽古中は一時も気をぬくことが許されない、ピンと張りつめた稽古風景で、制定から古流の初伝、中伝と抜きながら、的を射たアドバイスをズバズバとしていく様は、すごい一言。また、波止先生を頼って外からの出稽古も多い。



刀の手入れで一番複雑な行為は、目釘を外して行う手入れです。その手入れの工程で手入れ方法を誤った手法を多くの人々が実施している「目釘の装着」について改善すべき手順を紹介いたします。

<多くの人が行なっている方法>

柄に刀身を入れ、柄の目釘穴から刀の目釘穴を覗き込めば一致すると、目釘を差込み目釘小槌で打ち込んでいます。この打ち込みこそ間違った方法なのです。この方法が正しいと考え実際にやっておられる方は、目釘を抜いて見て下さい。

目釘の側面が刀の穴により削られた段差は有りませんか・・・？

刀の柄に開けられた2つの目釘穴は、差し込む側が大きく、飛出し側は差込み側より少し細く開けられており、刀身の穴は目釘の飛出し側とほぼ同じに開けられています。

目釘は柄の穴に正確にピッタリ収まる様に作られており、目釘が削られて居るのは刀身の穴と柄の目釘穴が一致していない状態で、強制的に打ち込まれた結果を物語っているのです。刀身クランプ強度をここで論ずるのでは無く、柄の構造と刀身(茎)の加工の意味を理解し、その目的に沿った活用が安全かつ長持ちさせる要因と理解を深めて頂きたい。

目釘は竹製の物が一般的で、目釘の打ち込みによる刀身を、柄穴深くに追い込む力は有りません。理由は、以下の通りです。

1. 刀身の茎にはヤスリ目が有ります。
2. 柄の茎挿入部は綺麗に削られておらず、荒れています。
3. 柄巻された柄は、茎を抜かれると使われている木の厚みが薄い為、開口部は若干内に狭くなる傾向にある。

この3つの構成により刀身の茎を柄で確り^{しつぱ}保持する様に考えられており、目釘で刀を降込む力を吸収しているのではなく、柄全体で吸収していると考えられる。

目釘の止め方を正しく行う事で伝統ある刀の魅力と機能に触れて頂きたい。

・・・139号に続く
次号は正確な目釘の装着方法です。



△合わない位置で強引に打ち込んでみた。



△無理に打ち込んだ目くぎ。

破邪剣正は仏教語の破邪顕正から管理人が勝手に振った造語です。

破邪顕正 - はじゃけんしょう (「せい」とも読む) 誤った考えを打破し、正しい考えを示し守ること。(出典 -goo 辞書)

© 公益社団法人 福岡県剣道連盟・福岡県剣道連盟 居合道部

第138号 平成30年1月1日発行

発行：福岡県剣道連盟居合道部

URL : <http://riai.info/>

発行人：井手友太

〒819-1132 糸島市有田36番地-1

TEL:092-322-0847